

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度第2回

会議概要	
日時	令和7年8月26日（火曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	委員（10名、正副会長以外は50音順） 加藤副会長、泉川委員、清水委員、柴田委員、正部川委員、田畑委員、 館岡委員、早川委員、前川委員、柳澤委員 （欠席者 村田会長、坂田委員、中山委員、渡瀬委員） 事務局 地域活動推進課 高桑主査 末広公民館 澤井館長 オブザーバー 地域まると支援員 細矢
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 末広地域まちづくり推進プログラム
	資料2 令和7年度地域活動計画

議事の内容

1 開会

2 報告・協議事項

(1) 末広地域の課題について

資料「末広地域まちづくり推進プログラム」を参照しながら、「地域目標」「地域資源・地域特性」「地域課題と取り組み」について委員意見交換を行った。このプログラムは10年ほど前に作成されて以降、古くなっている部分もあるので、次回協議会でも継続して、プログラムを更新していく。以下は主な委員意見。

- ・末広地域では今年防災計画、防災マップ作成の取組も進めているところだが、安全安心な地域づくりは1つの地域目標だと思う。
- ・地域の交流促進、人と人のつながりづくりという視点では、お祭りなどもあって良いと思う。
- ・災害に強い地域ではあると思うが、一方で高齢者層の割合が高くなってきていることから、被災時にどう助けるか、ということは大きな問題である。
- ・地域ばなれが進んでこれまでのようにはいかなくなっている現状から、組織の再編が解決策の1つと考える。例えば、まち協と市民委員会を合体する。末広地域であれば、末広まち協が頭になって、3市民委員会、また、社協や民児協などの関係組織も束ねるような組織を考え得れば、担い手不足の課題解決にも寄与できるように思う。
- ・市民委員会とまち協には「壁」があるように感じていて、地域の立場からすれば動きづらいのが現状と思う。統合という意見が出たけれども、今以上につながりを太くしていく取組や仕掛けが必要と思っている。
- ・高齢者への見舞金贈呈は297名、かたや産声の贈り物は1月に3名、つまり年では36名であった。高齢者割合が高いのは末広地域に限ったことではなく、全体的に言えること。
- ・若い世帯が家を建てても、地域との交流を望まなくて町内会に入らない。
- ・子ども民生委員をやってみたら、その保護者にも関わりが出来てきた。こういうアイデアも地域活性に一役買っている。
- ・若い世代、子どもたちから理解をという視点では、学校の授業の中に取り入れて貰うのが良いと思う。例えば、ニュースポーツとか、最近はこういう分野にも目が向けられている。
- ・学校の授業に「総合的な学習」が取り込まれていて、提案する側が準備して計画的に進めて行ければ、学校側も受けてくれるかもしれない。
- ・末広地域の交通の便が良かったの昔の話、今は1時間に1本ないときもある。
- ・高齢者への思いやりの取組では、スーパーで1箱100円でお届けします、というサービスもある。
- ・高さ制限で2階以上の建物が建てられない。工場やホテルもない。昔は農地があったが、今はほぼ住宅地になっている。総じて、住宅地しかない地域だと思う。
- ・高齢層の増加の話が多かったが、高齢者も元気で住みやすい地域、これを前面に出して行けれ

ば良いと思う。高齢者クラブが結構あるし、サポーター、指導者など、高齢者の社会参加ができるまちづくり、良いと思う。

- ・目の前のことにとらわれがちだが、15年後にどうなっているかという予測、中長期的な視点で考えていくことが大事ではないか。
- ・社協主催の福祉講演会で、医大の講師が未来に向けてどうしていきたいか、をテーマにグループワークを行ったことがある。積極的に話し合える場があることが大事と思う。
- ・まち協にも若い世代が居れば、違った視点で様々なアイデアが聞けそうだと思う。
- ・高齢者グループでボッチャの集まりが結構行われている。もっと盛り上がりも良いように思う。思うと、60代はまだそうでもないけれども、70代になると積極的な人は地域に参加するようになって、80代もかなり元気だ。

(2) 今後の進め方について

末広地域の課題は様々にあるわけだが、そのすべてを同時に等しく行っていけるわけではないことから、地域として何を重点的に行っていくかという視点で委員意見交換を行った。次回協議会でも検討を継続していく。主な委員意見は以下のとおり。

- ・今日に引き続き、次回も継続して、まちづくり推進プログラムを更新、完成させて行く。
- ・今年度は地域防災に取り組みだしたが、計画づくりで終わってはもったいない。例えば、避難訓練とか、大きなことではなくても、何か地域住民の役に立つようなことを考えていければ良いと思う。
- ・地域へのまち協からの情報提供のあり方についても考え方を変えていきたい。市民委員会のニュース、ほかでも結構取りあげられている中、同じ情報であれば目を引かない。
- ・まち協の情報提供のメインテーマは、やはり、まちづくりなので、そこに特化していくべきと思う。
- ・令和8年度は委員改選なので、若手が参画できるようにしていきたい。
- ・昔は、地域に〇〇をやって欲しいというような要望とか意見があったが、今は、そうした意見を聞かなくなってきた。地域に対する期待がとて薄くなってきている。公園には子どもたちの姿を見なくなった。家の中で、自分の世界で、同種の子どもたちと通信で話しているなど、クローズな環境の中で、広がっていかない。
- ・地域の若い人たちの意見を聞いてみたいという話は前からあったわけだが、課題はその方法論だ。企画してみたので集まってください方式では来ないと思う。
- ・旭川大学の大学生とか、意見交換会みたいなものを考えられないだろうか。
- ・高校生、あるいは中学生でも、結構大人の意見があるように思う。

- ・ 日中の時間帯に、まち協委員数人でも良いので、出向いて行く方法もある。
- ・ 次回も議論を継続して、1つの形になれるよう目指していく。

3 その他

(1) 今後の開催日程について

令和7年度第3回協議会は12月2日（火）18時～、令和7年度第4回協議会は3月10日（金）18時～、末広公民館で行う。

4 閉会